



## てんかんセンター巡り 第2回

# 北海道大学病院

### 施設概要

住所 〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目  
電話 011-716-1161 (代)  
ホームページ <http://www.huhp.hokudai.ac.jp/>

総病床数 936床  
診療科・病床数 小児科(てんかん専門医認定研修施設): 40床  
精神科神経科(てんかん専門医認定研修施設): 72床  
神経内科: 16床、脳神経外科: 32床

日本てんかん学会  
専門医(指導医)  
の人数 小児科: 3人(2人)、精神科神経科: 3人(3人)、神経内科: 1人

### 施設の特徴・地域の中で担う役割

北海道は、日本国土の約4分の1を占める広大な土地を持ちますが、人口は約540万人と、日本人口の約20分の1で、多くの

人々が点在して暮らしている地域です。

てんかんの有病率を考えたときに、北海道内には約5万人のてんかん患者さんがいらっしゃる計算になります。

北海道内には、札幌市に北海道大学、札幌医科大学が、旭川市に旭川医科大学の3

つの医育大学があり、地域の医療を担う医師を養成しています。また、これらの3大学には高度医療を専門とする附属病院があり、専門的医療を担っています。

現在、全国てんかんセンター協議会(JEPICA)にて施設認定をされているてんかんセンターは、正会員施設として北海道大学病院と、準会員施設として医仁会中村記念病院があります。

北海道大学病院では、小児科、精神科神経科、脳神経外科、神経内科が中心となり、てんかんに対する診断・治療を担っています。現在、北海道大学病院では、精神科・神

うに日々協力、研鑽を行っています。



## 施設からのアピール

北海道大学病院をはじめ、「北海道てんかんネットワーク」加盟の施設は、お互いに連携して医療に当たっており、北海道が一体となった医療環境構築を目指しています。これらの協力関係は非常に密であり、これは、開拓の歴史を持つ北海道の人々が持つ、「フ

小児科の壁面はかわいく装飾されています



経科850名、神経内科450名、脳神経外科620名、小児科520名、合計2,440名のてんかん患者さんが通院され、治療を行っています。特に、種々の抗てんかん薬治療に対して難治に経過している、難治てんかん患者さんや、てんかん手術が必要となる患者さんに対する総合的な診断、集学的な治療を行っています。

また、札幌医科大学、旭川医科大学、中村記念病院、北海道立子ども総合医療・療育センターとは、「北海道てんかんネットワーク」を形成し、お互いに情報共有を行うことにより、患者さんがより良い生活を送れるよ

ンティア精神」を表わすものと思います。

特に、手術を必要とする難治性てんかんの患者さんの検討には、ネットワークに参加する医師の多くが集い、時にはテレビ会議システムも駆使しながら、情報の共有を行っています。これらの綿密な検討を踏まえて、最も適切な施設で、最も望まれる治療が行われています。時には、飛行機で仙台や東京へ患者さんをお願いすることもあります。

本年7月には、北海道大学病院てんかんセンターが設立され、てんかん治療に最適な医療環境の構築を目指します。

(小児科 白石 秀明)